長野で暮すマイノリティを生きる僕らのために、
僕らが作るフリーペーパー

hanpo vol.06

TAKE FREE



topic

- 違和感についての話
- 鈍感になれって？
- 違和感の狼煙
- おどりばより「いきづらさについて」

hanpoは、さまざまないきづらさを経験してナガノで暮らして
複雑な思いをしているあなたに、ナガノに住む半歩先にいる人たちの
声を伝える手紙です。



とは

いま、様々なマイノリティのもとに孤独を感じていたり
つらい思いをしている１０代から２０代くらいのあなたへ

ナガノで様々な生き方をして暮すマイノリティ※の経験者たちが
自分たちの経験を伝えるフリーペーパー＆ＳＮＳです。

違和感についての話

いつからだろう、誰かの役に立つことにだけが
価値を持つようになったのは。
誰かの役に立つ、それは大変すばらしいことだと言う。

いつからだろう、他人に合わせることができることだけが
優しいと言われるようなったのは。
他人に優しい、それはとてもいいことなのだという。

いつからだろう、前に進むことだけが
生きるという事だと感じるようになったのは。
生きること、それはこの上なく尊いことだと言う。

いったいいつからだろう。
価値を求めること、誰かに優しくあること、生きることが
自分のためじゃないと感じていたのは。
この世界を見ているのは自分のはずなのに。。。本当に自分なのかな？

ｈａｎｐｏでいう　マイノリティ　とは
不登校は学校の問題だけではなく、発達障碍、身体障碍、
内部障碍、ＬＧＢＴＱ、国籍、家庭の事情…etc
これらに当てはまらなくても、暮していて感じる様々な、
人に伝えにくく理解されにくい生きづらさのことを指す。

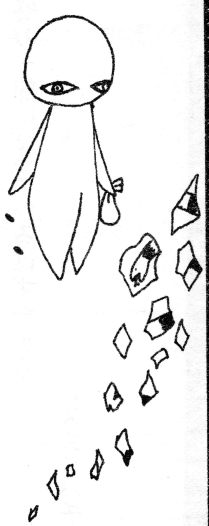
鈍感になれって…？

学校や会社に通っていた頃、
時々脳裏を何かがよぎることがあった。
今やってることって、
そんなに急いでやらないといけないのかな。
みんなが笑っているけれど、本当に笑っていていいのかな。
ふと、脳裏をよぎるけれど、けれども、
すぐに考えないようにする
だって、その方が周りに合わせておいた方が、
都合がいいから。
でも、あとで結局そんな自分に「違和感」を覚える。



「違和感」があると伝えると、
そんなことを考えていたの？可哀そう。
あなたは、可哀そうだから、助けてあげると言われる。
私は可哀そうだったの？
あなたは私を可哀そうにしたいだけ？
それとも、のけ者にして、上から見ていたいの？

ちょうど2年くらい前に、誰かに言われたコトバ
「私も虐められていたけど、今も生きているわ、
アナタたちもいじめだ不登校だなんて
いつまでも言ってないで、鈍感になりなさいよ。
いつまでもつらいと思っているから苦しいのよ。」
その通りかもしれない。。。
でも、一番つらかった時にこんなことを言われたら、
私は崩れてしまっていたんだ。
鈍感になって違和感を感じる心を捨てたら、
これまでの自分を捨ててしまうような気がして、
苦しくなった。。。



持たない方が楽なんですよ、「違和感」なんて。
持つから苦しいし、持つから孤独になる。
知ってるよ、でも、思ってしまったことを
なかったことにできるほど私は器用じゃない。。。
ここからも、私は「これ」を感じながら生きていく。
これからも、「これ」をコンパスにして生きていく。

：しおあじ

ほんだなのオキグスリ

「それっていわかん!?!?」

きっと違和感というのは、自分しか気が付いていないと思うから、違和感で、孤独で。。。
誰かの価値観を知ることは自分の違和感に輪郭を与えることにつながるんじゃないかとおもうんです。
誰かの感じた違和感を知ることっては孤独を繋げることになったりしないかな。

違和感の狼煙



コロナのせいもあるのかもしれないけど、
生きづらさとか、マイノリティという言葉を目にすることが増えた。
政治家や、コメンテーターもこの言葉を使うようになったので、もう多くの人が認知しているし、
生きづらさの中身についても、多くの人が認知して、声を上げるようになってきたように思う。
「hanpo」もその一つだと思う。
声を上げる人が多くなる反面、
生きづらさやマイノリティをお互いに不幸自慢。
誰かの助けの必要な生きづらさ、誰にも話せない生きづらさの足の引っ張り合い。
そもそも、生きづらさは主観だし、実際に体験していない人が、上だ下だというのは違和感を覚える。
それ以上に、違和感を覚えることもある、
一般化してきた、生きづらさに生きづらさの解説書のようなものが付きまとっていることに違和感を覚えている。

もちろん、そうしたものは、生きづらさを感じている本人が生きるためには、あれば自分の取り扱い説明書としても使えるものだと思う。けれどそれを周りの人が中途半端な知識を使って、「この傾向の人にはこう」「この人はコレだからこう接しなければいけない」と決めつけられているように感じてしまう。
アイツは特性を持っているから、こう考える、あの人はアレだから、こうゆうことをしがち。とか言われる。
一般的にマイノリティや生きづらさが認知されるのはありがたい。しかし、組織の中で中途半端な知識をまき散らすだけなら、いっそない方がいいのではないかと思ってしまうのは私だけだろうか。
そんなことより、ちゃんと話してよって思う。
「普通こうするよね?」とか「普通だったら…」なんて話はよくされるけれど、むしろ普通の解説書や普通の模範解答はなんなんだ。発達障害の解説書を作られて、丸裸にされていくのに、なんで「普通」の人たちは何も変わらない、異なることを問題としては考えるけど、
自分の普通を問題として考える人はほとんどいない。
自分のことをどれほど知っているんだろう。
自分で書いてて何様って思うと思う、でも、もっとみんな、
自分のこと考えてみてほしい。
自分も違和感の一部になっているはずだから。

:スズメバチ

ほんだなのオキグスリ /

マンガ

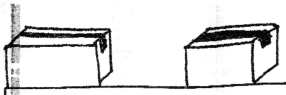
亜人ちゃんは語りたい /ペトス

人とはちょっと異なる伝承をもとにする「亜人」のいる世界での学園コメディなんだけど、
亜人、ちょっと異なる個性を持つ子達を、社会的なマイノリティのメタとして置き換えて読むと、
きちんと対話する大切さを描いたいい作りをしていると思う。私の周りにもああゆう先生がいればなぁ。

最近おもう、違和感アレコレ

hanpoメンバーに聞いてみた内に秘めている違和感アレコレを載せてみました、

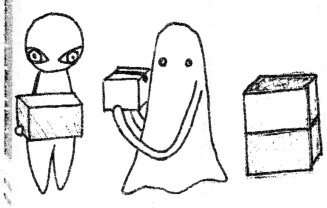
今後も、ちょこちょこ書けたらいいナ。。。



違和感1

これまでお店入る時にマスクしてると眉をひそめられたのに、なんとも思われないどころか、安堵の表情される。当たり前のことなんだけど、こうも常識は簡単に覆るのか、という違和感





違和感2

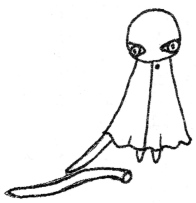
「障がいは個性」「いきているだけで良い」「あなたはあなたのままで良い」「逃げることや人に頼ることは悪いことじゃない」これらの言葉に違和感を覚える也。

違和感3

コロナに関して言えば、アレルギー性鼻炎の自分、結構鼻かむんだけどその度に視線食らう。

マスクと衣服、みたいな感覚も違和感。





違和感4

俺は、女として生まれましたが、心は男なのです。

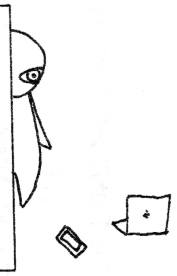
なのに、なのに、いちもつがない。

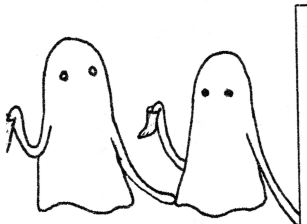
その現実と常に向き合わなくてはいけないことがめちゃくちゃ辛いです。

違和感5

そういえばオンラインで意識高い人たちや支援者の人たちは「全国のいろいろな人たちと繋がれて大変良い」みたいなのを聞くけど、当の不登校や引きこもりの人たちにはどうなんだろうね。

本人たちにとって、今のオンラインひゃっほー時代はどうなんだろうね。





違和感6

当事者ではないんだけど、

コンビニでヘルプマーク付けてる人に影で、「頭おかしいやつや」って言ってるの聞いたことあって。なんのためのものなのかなぁって違和感。

～おどりばより～

「いきづらさについて」

～さらみ～

「生きづらさ」という言葉をいろいろな場面で目にするようになった。
『「生きづらさ」を抱えている人たちはたくさんいます。』
障がい、不登校、引きこもり、病気、性的マイノリティー、相対的貧困、被差別、犯罪被害者、古い因習・慣習の下で暮らす人たちなどなど…。(ここで列挙したものは一例であり、あくまでカテゴライズされ、つくられた言葉上のキーワードにすぎないけれど)
様々な団体や個人が、大小のネットメディア、SNSなどで「声をあげている」。FacebookやGoogleでキーワードを探せば、世界中24時間365日、彼ら彼女らの「声」やインタビューした記事に出会うことができる。
今までそこにあったのに気づかれなかった。
いわゆる「声なき声」にスポットライトがあたるようになった。
歓迎しない声はあまり聞こえてこないし、実際に喜ばしいことなのだと思う。
だけど、違和感を覚えることもある。
「普通じゃない」を「普通」に。
「少数派の人たちにとって暮らしやすい社会は、すべての人たちにとって暮らしやすい社会」です。
「昔はそういう人たちいなかった?今はそういう時代じゃないんです!」
これらを見聞きするたびに、頭の左斜め前あたりがムニャムニャして、時には痛みさえ起こる。

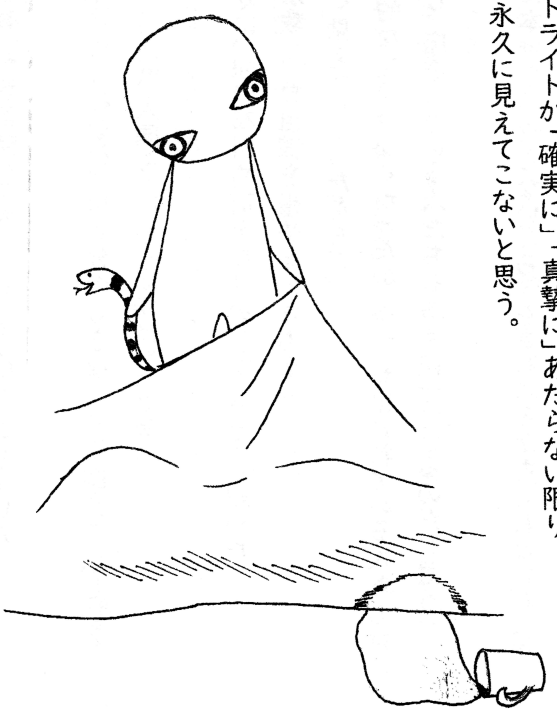
マイノリティーは、マイノリティー(少数派)であるからマイノリティなのに、マジョリティー(多数派)になろうとしている。
声が上がるほどに注目され、社会変革にまで繋がっているマイノリティは、もはやマイノリティではないと思う。
それはそもそも元からそこにあったもので、環境やら情勢やらが、名刺の肩書になり得るキーワードを得て、経て、舞台に上がっただけのことだ。「生きづらさ」という言葉は、すべてを内包してしまっている点で非常に暴力的な言葉だ。

今までなんとなく感じていた貴重な「違和感」
表現の可能性が無限にあった「モヤモヤ」
それらをこの言葉は簡単にぺちゃんこにしてしまう危険がある。
「枠」をつくってしまうからだ。
空っぽにしたはずのリュックを振ったとき、何かコロカラと音がする。いろいろ考える。
小石かな?鍵かな?コインかな?チャックの切れた部品かな?
だけど、そのコロカラを「異物」と認識した瞬間、いろいろ考えたモノが「異物の○○」になってしまう。
言葉の問題ではないのかもしれないが、言葉の問題だ。

時代の流れに取り残され、行き場をなくし、人と人とのつながりから取り残されやすい対象。
どの年代でもいるが、多分若い人たちに多いのだと思う。肌感覚だが。

例えば、障害の「gai」を漢字にするか、ひらがなにするか、旧漢字にするかという問題。
たかが表現の違いじゃないかという人もいる。
言葉には意味があってそれぞれの考えがあるんだという人もいる。(害は負のイメージがあるというのが典型)
そんなんどうでも良い。大事なのは表現ではなくて中身だ。中身が伴わなければいくら表現に気を遣ったところで意味はないという意見もある。
ちなみに「総務省の「ホームページのバリアフリー化の推進に関する調査結果の要旨(HTML版)」では「障害の表記は、音声読み上げソフトで正しく読み上げさせるために、ひらがなを用いずにすべて漢字で記載しております。」とある。
どれも間違いではないし、どれも正解ではない。
ただ、当事者や経験者含め、その人のことを考えているという人ほど考えていない、考えが及ばない、ということはそれほど珍しいことではないのかもしれない。
僕は以前、ある団体とかかわったことがある。
「生きづらさ」を認めてくれると評判のところだ。
実際そこでは多くの人たちが「認められ」「救われ」てきている。
でも僕が認められた「生きづらさ」は、病気というメジャーなマイノリティだけだった。
「好きなことを見つけ精一杯楽しみな」
「一人でいる寂しさを嘆くより、一人でできることを見つけて熱中すると良い」
「好きなこと宗教」が跳梁跋扈(ちょうりょうばっこ)していた。
「好きなこと宗教」が跳梁跋扈(ちょうりょうばっこ)していた。
確かに、今まで認められなかった自分の好きなことを認めて欲しいという人たちにとっては、天国みたいな"居場所"だと思う。
だけど僕は徐々に、頭の左斜め前あたりがムニャムニャし始めた。
「好きなこと宗教」の教祖様を崇める人たちが、とても浅ましく見えてしまったからだ。
今はもう直接的な交流はなくなったが、今でも救われている人たちは居続けているし、応援している人たちも増え続けているのだと思う。
「生きづらさに本物も偽物もないだろ」と言われるかもしれないが、僕はあると思っている。
今をのさばっている「生きづらさ」は偽物だ。
正確に言うと「本物から偽物に押し上げられた」ものだが。
かつてのマイノリティが辿ってきたのと同じように。
もっと昔からあった皆が背を向けてきているものがあるはずだ。
メジャーなマイノリティではない。
昔と名前や場所を変えて、今でもその場にいる。
昔よりむしろ今の方が彼らにとって非常に「生きづらい」。
「アンチ」と呼ばれる人たち。
最近ではこの言葉、意味が変わってきてしまっている。
語源は「antipathy」(根強い)反感、毛嫌い、相容れない性質、性に合わないこと、の意味だが、今では「特定の対象を攻撃する」悪の対象とみなされてしまっている。

中には以前、「特定の対象」の活動などを心から応援していた人もいると思う。
でも自分は認められないんだと感じてしまったら。そこにいる意味をたちまち失ってしまう。
ブロック機能というものによって、「ないもの」とされてしまっているアンチ。だけど確実にそこにいる。
「彼らのしていることは普通じゃないから批判されても仕方ない」
「自分勝手なことをして自業自得なのに、何故とりあげないといけないのか」
かつて同じ言葉を言われた元マイノリティであってもこの言葉を使う。
それがいかにも「普通」であるかのように。
一方で、そう思ってしまう気持ちもわかる。
実際、アンチからストーカーや脅迫などの犯罪につながったこともある。
　怖がるのは無理もない。
しかし、それを言ってしまったらおしまいだろうとも思う。
「精神や知的に障害がある人たちが地域を散歩するなんて何をするかわからないからやめてくれ」
「あのうちは貧乏だから、近くの家の泥棒やったんだろ」
日々懸命に「支援」している人たちは、それらの声に
「丁寧に」説明をしてきたはずだ。
「障害を理由に彼らを差別しないでください」と。
アンチは、今の、そしてこれからと言われている社会の犠牲者であり、予備軍でもある。
それらが引きこもりや精神病といった、現在社会的に問題となっている状態にまで発展しない限り、誰も手を差し伸べない。そしてその時に手を伸ばしても手遅れだと僕は思う。
アンチを見つけることは難しくないが、アプローチをかけるのは難しい。
誰も支援の、サポートの、手を差し伸べる対象だとみなさないからだ。
本人の性格、性質の問題と片付けられてしまっているからだ。
誰でもなり得るし、多くの人に忌み嫌われる。
ボタン一つで簡単に忘れてしまえる。そこまでにいくつかの葛藤があったとしても、だ。
彼ら彼女らにスポットライトが「確実に」「真摯に」あたらない限り、本当の生きづらさは永久に見えてこないと思う。



人と人とが想いを共有しあうなかで、
自分を深められるような場
ナガノに生きる様々な人が日頃考えている
思いを、誰かがコトバを紡いでくれています。
今回はその中から記事をお借りしました。



おどりば
ODORI-BA

Twitter：odoribanobokura

HP：http://odori-ba.net/

28人のメンバーがさながらアパートのように
毎日かわるがわる記事をかいてくれています。
様々な価値感を持った人が、ナガノで思うこと。
そうした、様々な思いに触れていただきたくて
おどりばから一部抜粋させていただきました。

～次回予告と編集後記～

ぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷすぷす……見事にパンクしました。
半年経ってしまったけど、皆さん大変ながらくお待たせしました。
僕の生活ってだいぶここに集約して動いているはずなんですけど、気付くとあっちもこっちも忙しい季節になっていたり、忙しいこと始めちゃったりで。見事にパンクしてます。+ちょっと風邪気味。パンクすると、日常生活にも影響が出てきて、まいったな、、、といった様子。
使ったバスタオルをベッドに置きっぱなしになったりして、汚部屋まっしぐら&お風呂入ってもバスタオルなくって家族からカミナリぴしゃーんってなって落ち込んで悪循環スパイラル。。。
人間出来ることには限界あるからね、自分の力量越えたことはよっぽどいいサポート体制や助けてくれる人がいてくれるときにしかしちゃだめだね。ささささ、今年はもうすこし羽の伸ばせる年になりますように。

～「hanpo」編集部募集中～

身の回りで、あなたが体験している、「マイノリティ」に関することを文章にしてみませんか？
マイノリティの生きづらさは独りで抱えるには苦しいけど、
多くの人が認知してくれれば少しずつ変わっていくものなんじゃないかと思います、あなたの思いを hanpo に載せることで、私たちのナガノは少しずつ見え方が変わってくるかもしれません。

※募集条件はナガノに関わりのある、生きづらさの経験をもった、おおむね 10 歳～39 歳くらいまでの方。
記事を書いてみたいという方、編集してみたいという方、お気軽に編集部にご連絡ください。
>編集部 Email>>>hanpoedit@gmail.com

2020年12月13日から開催させていただいたオルタナティブ文化祭について。

ナガノオルタナティブ文化祭
皆様のご協力と暖かい支援のおかげで終えることができました。
今回のナガノオルタナティブ文化祭では地域を越えて40人以上の方が関わってくださり100近い作品を寄せていただきました。
中には、ほとんど家からも出ずに、作品を作ってくれていたり。
これまで、「作品」と呼べるものは作ってこなかったけど、自分の考えていることを、言葉以外の方法で表現してみたいという方が、参加して作品を作ってみたり。
作品は作らないけど、会場で多くの人とのかかわりを手伝ってくれた方、様々な関わりが産まれました。
この参加してくれた人数が、今ナガノで生きづらさを抱えている子達の割合で、
多いか少ないかでいえば、決して多いわけじゃあないと思います。
でもこれまで、外に繋がりを持っていなかった参加者の子達からすれば、それだけ世界と繋がった、
それだけ可能性が広がったのではないでしょうか。
それはもうまぎれもない「大成功」なんじゃないかと思っています。
今回の繋がりを、この先も活かして、2回目3回目、そして、もっと多くの場所とが繋がって、
生きづらさを抱えた子達が、孤独を抱え込まなくてもいい街ができていったらいいなと思います。
今回は新型コロナウィルスという不自由な大変忙しい時期に手を貸していただいたり、足を運んでいただいた方、クラウドファンディングで協力していただいた方、SNSで発信していただいた方、
本当にありがとうございました。協力していただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

・六川智博 様
・覇月讃良 様
・上條美季 様
・ぺろ 様
・POTAKA穂高 様
・吉田健留 様
・かたぎり まさかつ 様
・幅博子 様
・上條誉寛 様
・sutudiosonne 様
・kulwa 様
・minkahouse 様
・野の花茶屋 だ・もんで 様

他、多くの皆様の支援で成功させることができました。

今回会期中に寄せていただいた作品は、今後もInstagram hanpoのアカウントと、
ハッシュタグ「#ナガノオルタナティブ文化祭」からいつでもご覧にいただけます。



Created
By 山田愛

「hanpo」のその他の情報や記事の続き、詳しいイベント情報は
⇒のＱＲコードの先
「hanpo」note 版に記載されています。挿絵イラストとか
記事を書いてくれる方を募集中興味のある方は連絡ください。
また、ご意見ご感想あと寄付とかカンパとかお待ちしてます。

―ご寄付のお願い―

これからもより多く、半歩先の声を届けるために寄付をお願いします。

＜寄付振込先＞ゆうちょ銀行　　<振込先口座名>　hanpo　ハンポ
＜店名＞　059 店　＜当座＞　＜口座記号番号＞　00510－5－0053632

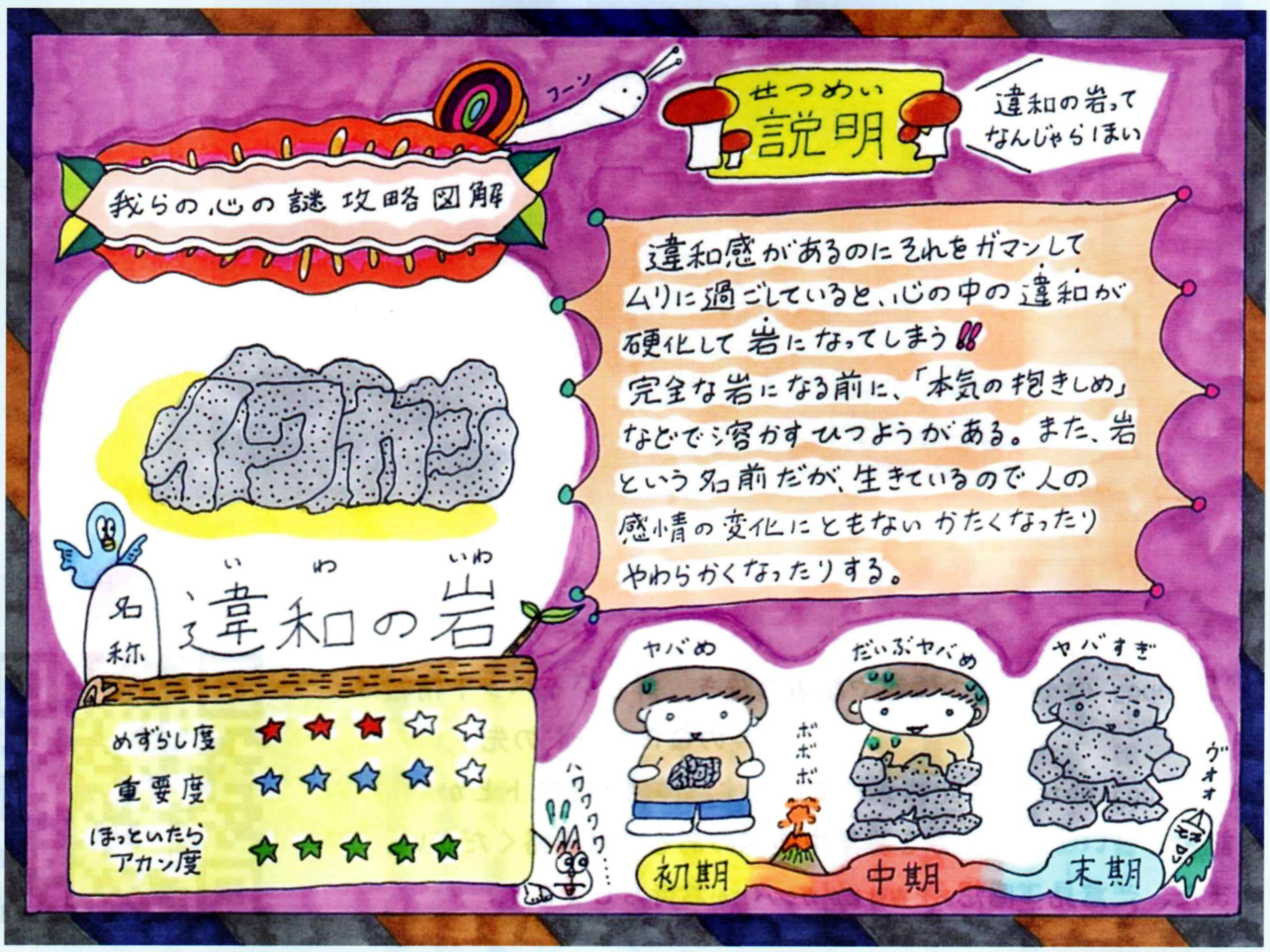
-お問い合わせ連絡先-

hanpo 編集部　⇒⇒⇒　Email　hanpoedit@gmail.com
◇Twitter　@hanposakino　　◇Facebook　hanpo　　◇note　hanpo

空想ハピネス図鑑（くうそうハピネスずかん）

その気持ち、目に見えりゃいいのにね編

「あったらいいな」で君をハッピーにし隊！隊長：アオヤギマユミ



hanpo

ナガノで暮すマイノリティを生きる僕らのために、僕らが作るフリーペーパー

◇発行　hanpo 編集部　　◇後援　長野県

共催◇上田映劇◇みんなのお家すまいる◇ブルースカイ◇長野県チャイルドライン推進協議会